

令和5年5月21日

TO担当 上原正嗣

令和5年度 県北地区 TO 主任講習会 総評

今回は、講師に広島県バスケットボール協会 TO 委員長 佐藤紘行氏 にお越しいただき、講義・実技講習を行っていただきました。講義は、TO 委員会が発足した背景や TO 主任に求められる「子供を守る」という責任について指導頂きました。

実技講習では、実際にゲームの TO を行い、子供たちの立場に立って経験してもらいました。この経験から TO クルーの大変さや不安所が理解でき、今後の TO 主任としての関わり方が少しでも理解できたと思います。

<全体を通して>

- ・TO もしゃべる…コミュニケーションのため
 - ① 声を出す(短い言葉で) ② 掛け合い方
- 記録チーム(スコアラー・アシスタントスコアラー)
- 計測チーム(タイマー・ショットクロック)
 - アシスタントスコアラーは重要な役割(ゲームから目を離さない)

- ・計測チーム(声の出し方)
 - 14秒、10秒、5~1秒 カウントダウン(毎回)
 - Q 終わり 24秒切った際、タイマーのカウントダウン

- ・ヒューマンエラー…人が起こすミス
- ・システムエラー…機械不良で起きるミス(試合前に確認が必要)

- ・TOと審判を含め、クルー(TOの責任は、審判の責任となる)
- ・試合の準備…ユニフォーム・バッシュ・筆記用具(試合=TO)
 - 筆記用具 U-12 場合「鉛筆 or シャーペン、定規」

- ・ミーティング…会場によって設備が違う「確認と準備」
- ・オルタネイティングポゼッションアロー…持ち上げなくてもよい
- ・個人ファール表示板…前・上・前 各3秒(回さなくてよい)
- ・選手交代…交代は選手自ら TO に伝える イスに座るのは番号をチェックするため

- ・TO 主任は「子供を守る」

<講師より>

子供たちが TO を通じてバスケットを好きで続けられるように、TO 主任の役目は非常に重要です。冒頭にも話した「子供を守る」を念頭に責任を持って務めてください。

皆さん熱心に講習会を受けて頂き、非常にうれしかったです。バスケットと同じでやった分だけ上達します。また機会があれば、第二回を開催させて頂きたいです。